



ヒント  自己PRは、面接などの場で多く求められます。しかし、自分の個性や長所は自分では気づきにくいものです。そこで、友達や長所の「客観的な視点」を借りてみましょう。思いもよらない自分の個性や長所が見えてきます。

自分のことを理解してもらうために、自分の考えや特技などを伝えることを「自己PR」といいます。「PR」は「public relations」の略で、直訳すると「広報活動」です。自分を知ってもらうためには、どのように伝えればよいか、考えてみましょう。



自己PR



自己PR文を書く

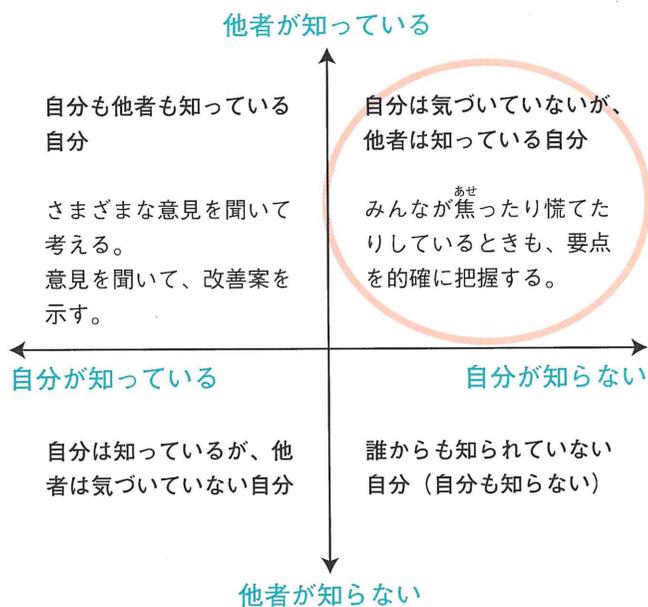
題材

構成

考えの形成・記述

推敲すいこう

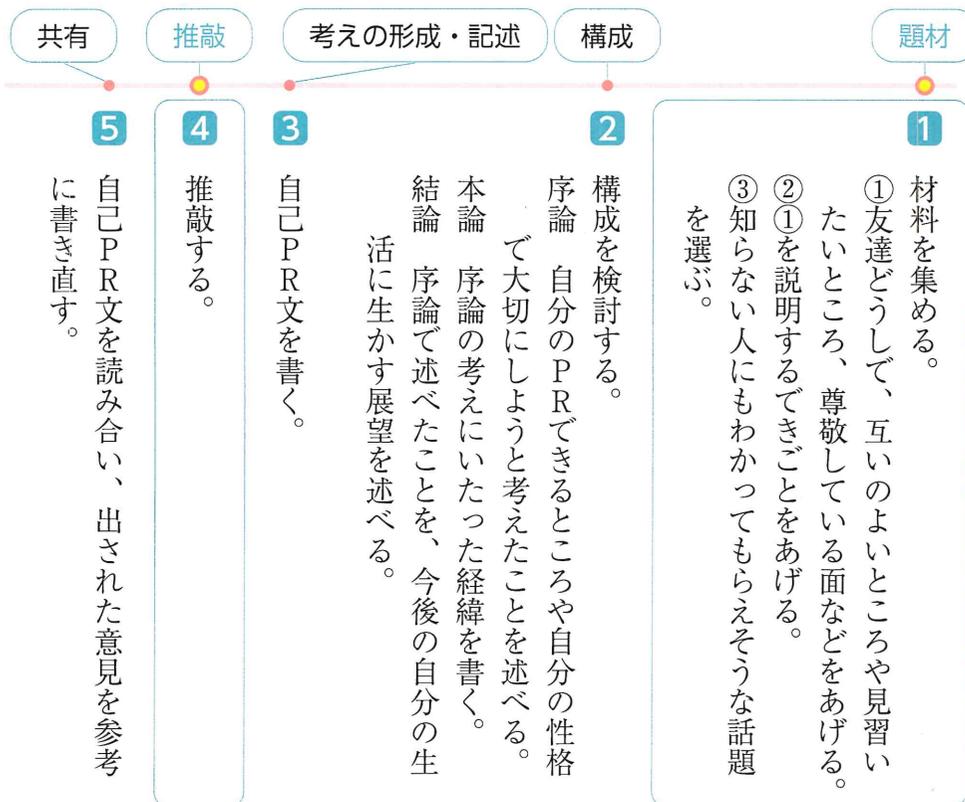
共有



自分のPRポイントを探すことは、自分自身と向き合う作業といえるね。

目標

- 話や文章の種類とその特徴について理解を深める。
- 目的や意図に応じた表現になっているかを確認して、文章全体を整える。



意見を出し合う様子

自分のPRポイントが何か、友達にきいてみよう。



相手の話をしっかり聞くところがいいと思うな。



成果発表会の時に実行委員をやって、みんなをまとめてくれて助かったな。



一年生から三年生まで、大勢いる実行委員の意見を聞いて動くのは大変だったでしょう。



初めは立場にとまどったけれど、みんなの意見を聞いてまとめる経験ができたよ。長所としてあげるね。

推敲のポイント

- 1 自己PR文にふさわしい題材や事例か。
- 2 経験とそこから学んだことが結びついているか。
- 3 書き手の人柄がよくわかる内容になっているか。
- 4 伝わりやすい構成や表現になっているか。

どこで、どんなことがあったのか、誰と、どうやって乗り越えたのかを加えるといいよ。



自己PR文

私は、他者からのさまざまな意見をしっかりと聞き、それを的確に把握し、行動したりグループをまとめたりすることができる。

そのような力は、例えば、今年の秋に担当した成果発表会実行委員会で発揮された。私は成果発表会実行委員会で校内装飾のチーフを担当した。校内装飾では、私たちの一年間の学びを、さまざまな形で発表するにあたり、特に発表ポスター類をどのように配置するかを考えたり、配置したポスターの紹介の仕方を考えたりしなければならぬ。

まず、私は装飾を担当するメンバーと協力し合って、立場によって異なる、さまざまな考えや要望を集約したうえで、それぞれの立場の人がいちばん大事にしたいことは何かを考え、全員の希望がかなう校内装飾案を提示した。

次に、提案に対する意見を聞いて、改善案を示した。これによって、成果発表会の参加者アンケートで「どこに何があるのかわかりやすかった」「ポスターを並べる順番で学びの経緯がよくわかった」といった声の聞かれる校内装飾を実現することができた。

今後、ますます、いろいろな人と考えを交換しながら何かをなし遂げなければならぬ場面は増えるだろう。私は……（以下略）



言葉・情報

・まず、……。次に、……。 （順序）



学びを生かす

面接や自己紹介のときに役立てよう。

① 主張を最初に書く。

文章全体のまとめ
になっているね。



② 具体的に経験を書く。

読み手がイメージ
しやすいね。



③ 最後に改めて簡潔に結論を書く。

振り返り

- 読み手を意識して、自己PR文として適切な内容や構成を考えているか。
- 読み手の助言を踏まえて、よい点や改善点を理解しているか。

